

練習問題7 仕訳する

次の期中取引を仕訳してください。なお、仕訳に使う科目は、次のとおりです。

資産科目	負債科目	費用科目	収益科目
現金 預金 事業未収金 車輜運搬具	短期運営資金借入金 事業未払金 設備資金借入金	職員給料 給食費 支払利息	介護保険事業収益 経常経費寄附金収益

期中取引	仕 訳			
	借 方		貸 方	
	科 目	金 額	科 目	金 額
① 発生した介護保険報酬500を未収に計上した。				
② 職員給料200を現金で支払った。				
③ 食材100を掛買いし未払を計上した。なお、食材は直ちに費消した。				
④ 乗用車100を現金で購入した。				
⑤ 設備資金200を借り入れた。				
⑥ 経常経費に対する寄附80の入金を受けた。				
⑦ 借入金利息10を支払った。				
⑧ 未収計上していた介護保険報酬340の振込を受けた。				
⑨ 短期運営資金借入金を250返済した。				
⑩ 未払計上していた食材費150を支払った。				

どのように仕訳すればよいのでしょうか？

- ① どのような資産あるいは負債が増加するのか、また、減少するのか、を考えます。
- ② 資産が増加する場合は(B/Sを思い出してください・・・)、借方に資産科目を記入し、貸方に相手の科目を記入します。資産が減少するとき、あるいは負債が増加するときは、逆になります。

例 現金預金(資産)はB/Sの借方に計上される・・・

だから、増加したときは借方に記入する

反対に、減少したときは<借方の反対>の貸方に記入する

- ③ 資産・負債の相手科目が、資産・負債ではないときは・・・？ そう、収益・費用の科目になります。このようにして、左右の金額を同じにします。